

公共交通に関するグループインタビューの結果

1 グループインタビューの目的

1 目的

アンケート調査では「町全体の意識等を定量的に把握すること」を目的としていたことに対して、グループインタビューでは「地域ごとの個別具体的な要望等を定性的に把握すること」を目的としている。

2 概要及び参加者数など

開催日	令和3年10月30日(土)、11月3日(水・祝)、11月23日(火・祝)
開催場所	各地区コミュニティセンター及び県営東浦住宅集会所
対象	7小学校区(森岡、緒川、卯ノ里、片葩、石浜西、生路、藤江)の老若男女
参加者数	計70名(森岡10名、緒川8名、卯ノ里12名、片葩15名、石浜西9名、生路7名、藤江9名)
内容	<p>住民の公共交通に対する意識、利用状況、政策への意向を把握するため、グループインタビュー形式でヒアリングを実施する。定員やヒアリング時間は計画策定時と同様とし、定員10名以内、ヒアリング時間1時間程度とする。</p> <p>また、全体の流れは「①地域公共交通の大切さ(説明)」、「②自己紹介(公共交通との関わり)」、「③テーマ別意見交換会」、「④感想用紙の記入・提出」としている。</p>
まとめ	<p>① 多くの方がバスやタクシーのサービス内容(運行路線、発着時刻、運賃)等を詳しく知らないため、移動手段の選択肢に入っていない状況である。</p> <p>② 公共交通の利用に不慣れな方へのサービス内容自体の周知が必要。</p> <p>③ 医療施設、買い物への移動を軸に、刈谷ハイウェイオアシスやおおぶ文化交流の杜等といった楽しい目的地へ行けるバスサービスの見える化が必要。</p> <p>④ 「う・ら・ら」の路線に関する改善要望(環状線の9時台の環状線(左回り・右回り)の増便、長寿線の早朝・13時台の増便、他路線と刈谷線との乗継利便性の向上など)</p> <p>⑤ 「う・ら・ら」は特に高齢者の乗り物というイメージがついてきている。今後のためにも、公共交通=老若男女誰でも気軽に利用できるといったイメージの転換が必要か。</p> <p>⑥ 新たな公共交通機関の試行運用は、現在町内に存在しないサービスのため、導入後の利用をイメージしづらい状況である。</p>

3 各小学区の参加者数及び属性など

(1) 卯ノ里小学校区

開催日時	令和3年10月30日(土) 午前10時30分～
開催場所	卯ノ里コミュニティセンター
対象	卯ノ里小学校区の老若男女
参加者数	12名(うち2名がオンライン参加)
年代別	学生:0名、18～39歳:3名、40～59歳:4名、60代前半:0名、60代後半:2名、70代前半:1名、70代後半:0名、80歳以上:2名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について(ダイヤ/緒川、刈谷、健康の森方面へのニーズ) ② 知多バスについて(東ヶ丘団地線の利用) ③ タクシー利用について(巽ヶ丘駅等からの利用) ④ 新たな公共交通機関の試行運用について(丸池台住宅地⇄マルス東ヶ丘店での「う・ら・ら」乗り換え)
主な意見	<p>■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか</p> <p>① 巽ヶ丘駅へ行く際には、雨なら歩き、晴れた日は自転車を利用する。バスは時間が合わないことが多いので「なら歩く」となりがち。</p> <p>② 環状線(右回り)の便数が少ないのが問題と感じている。イオンモール東浦で乗り換えて刈谷豊田総合病院に行くのに1時間待つ場合もある。</p> <p>③ 「う・ら・ら」は、18時台で運行が終わってしまう。イオンモール東浦で映画を見て食事をする場合、20時台まで運行があるとありがたい。</p> <p>④ 子どもとバスに乗って1時間かけてイオンモール東浦に行ったときには、車内でやることなく子どもが飽きてしまった。時間がまぎれるものがほしい。Wi-Fiがあればスマートフォンでゲームや本が読める。</p> <p>⑤ 子どもだけでバスを利用させる際には帰りが困る。行きは家で調べておけばいいが、帰りに現地でどうやって調べさせればいいのかのだろうか。</p> <p>⑥ イオンモール東浦には同時刻帯に複数のバスが乗り入れているので、どのバスに乗車すればいいかが分かりづらい。</p> <p>■行きたい場所</p> <p>⑦ げんきの郷に行きたい。</p> <p>⑧ 長寿医療研究センター直行便がもっとあればいい。</p> <p>⑨ 「う・ら・ら」と「かりまる」を乗りかえれば刈谷ハイウェイオアシスまで100円で行ける。誘い合わせていくのもありか。</p> <p>⑩ 於大公園へは於大まつりがあるときだけ行く。それ以外は行かない。</p>
感想用紙	<p>① 隣接する市町のダイヤなどと組み合わせたおでかけプランをPRするイベントを開催し、公共交通に興味を持ってもらえる仕掛けが必要。</p> <p>② 買い物や映画館に行くためにアピタ阿久比店に行きたい方は多くいるのではないか。</p> <p>③ 車内にWi-fiを設けるのもいいが、ニュースが流れるモニターがあるといい。</p>

- | | |
|--|--|
| | <p>④ 今回のグループインタビューを受けるまで、「う・ら・ら」についてあまり知らなかった。身近なものになれば使ってみようと思えるようになるではないか。
色々なところでアピールしていただきたい。</p> <p>⑤ これから子ども達が大きくなったとき、自分たちだけでバスに乗って遊びに行くことがあると思う。その時にバスが有効だということに改めて気づかされた。親としてはちゃんと行って、帰ってこられるかが一番心配なところなので、子ども達だけでも安心して帰ってこられるのが一番のポイントかと思う。</p> <p>⑥ 緒川小学校区の通学利用のバスがダイヤの縛りになっているのであれば、学区の見直しをしてみてもいいのでは。</p> <p>⑦ 色々な年齢の方の意見要望があり、有意義だった。</p> <p>⑧ ダイヤ改正をお願いしたい。</p> |
|--|--|

(2) 森岡小学校区

開催日時	令和3年10月30日(土) 午後1時30分～
開催場所	森岡コミュニティセンター
対象	森岡小学校区の老若男女
参加者数	10名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：1名、60代前半：2名、60代後半：2名、70代前半：4名、70代後半：1名、80歳以上：0名
個別テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ① 「う・ら・ら」について(緒川、刈谷、その他の方面) ② 知多バスについて(大府循環線の利用) ③ 大府市ふれあいバスについて(乗継利用) ④ タクシー利用について(大府駅等からの利用) ⑤ 新たな交通期間の試行運用について(旧道に面した住宅地⇄ドミー東浦店⇄尾張森岡駅)
主な意見	<p>■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 森岡から刈谷に行く場合、行きのダイヤはいいが、帰りのダイヤがなくネックになっている。 ② バスをはじめ公共交通の使い方がわかっていないことが恥ずかしいと思われる方が多い。 ③ 森岡から図書館に行くのが不便と感じることがある。バスの便はあるが、最寄りのバス停から目的地への行き方が特に高齢者には理解しがたいところがある。 ④ 時刻表の読み方が分からない。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ バスの時刻検索が高齢者には非常に困難。スマートフォンの利用を前提にするのではなく、高齢者の検索方法も考えていただきたい。 ➢ 最寄りのバス停があるが、バス停の時刻表の見方に慣れていないことがバス利用の障壁になっている。 ⑤ 保健センターで実施している企画「脳トレ」にバスで行きたいがいいダイヤがない。 <p>■行きたい場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ① JR武豊線を利用する場合、森岡東側は尾張森岡駅に、森岡西側、特に森岡台は大府駅まで行く。そのため、大府駅まで直接行きたい <ul style="list-style-type: none"> ➢ 森岡台から大府駅まで知多バス「大府循環線」が運行している。「う・ら・ら」だけでなく東浦町の公共交通全体の利用をどう増やすかという視点で「う・ら・ら」を見ることが重要。 ② イオンモール東浦は、ATM(三菱UFJ、知多信用金庫、西尾信用金庫、JAあいち知多、ゆうちょ、イオン銀行)が揃っている。そのため、年金支給日には、高齢者が年金を下すためにイオンモール東浦に行っている。 ③ おおぶ文化交流の杜「allobu」に行きたい。

	<p>④ 森岡から大府の病院に行く人は、「ふれあいバス(大府市循環バス)」を利用することがある。買い物には大府市の商業施設(リソラ大府、アピタパワー大府店、ドミー大府店)にはわざわざ行かない。</p> <p>⑤ 刈谷ハイウェイオアシスに行けるようになれば楽しくお出かけできる場所が増える。</p> <p>⑥ 森岡地区から刈谷豊田総合病院、よしだ眼科、松岡整形外科など行くために、朝もう一本早いダイヤが欲しい。</p> <p>■その他</p> <p>① 森岡台に住む高齢者等の買い物困難者への対応が必要。</p> <p>② 長寿医療センターでの予約時間の傾向を鑑みバスダイヤを再編するとより便利になるのではないか。長寿医療センターでの予約時間は 00 分、15 分、30 分と刻んでいる。</p> <p>③ イオンモール東浦で「う・ら・ら」の定期券を買えるのが非常に便利である。</p> <p>④ 刈谷豊田総合病院にバスで行けることは非常にありがたい。</p>
感想用紙	<p>① 公共交通ですべてをまかなうのは難しい。特に高齢者の移動は、社会福祉の協力も交えて考えられると良い。</p> <p>② 刈谷豊田総合病院への乗継ぎ利便性の向上を考えていただきたい。</p> <p>③ 公共交通として、公共施設(文化センター、各地区コミュニティセンター)への乗入れ頻度を上げれば良いのではないか。</p> <p>④ 長寿線(緒川駅東口行)で、長寿医療研究センター7:30 発ほどの朝の便を増やしていただきたい。</p> <p>⑤ 長寿線(緒川駅東口行)で、長寿医療研究センター13:20 発があると便利である。</p> <p>⑥ 長寿線(長寿医療研究センター行)で、緒川駅東口 12:30 発があると便利である。</p> <p>⑦ 自動車を常に利用している人より、公共交通を利用している人の方が元気だという話には驚いた。今回のグループインタビューを機に、「う・ら・ら」を使ったウォーキングをしてみたいと思った。</p> <p>⑧ この発着時刻で、この目的地に行けるなどといった情報を発信していただきたい。</p>

(3) 緒川小学校区

開催日時	令和3年10月30日(土)午後3時30分～
開催場所	緒川コミュニティセンター
対象	緒川小学校区の老若男女
参加者数	8名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：0名、60代前半：0名、60代後半：0名、70代前半：3名、70代後半：1名、80歳以上：4名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について(刈谷や健康の森方面へのニーズ) ② 知多バスについて(刈谷中部空港線の利用) ③ タクシー利用について(イオンモール東浦等からの利用) ④ 新たな公共交通機関の試行運用について(旧道に面した住宅地⇄緒川コミュニティセンターで「う・ら・ら」乗り換え)
主な意見	<p>■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか</p> <p>① バス停が家から遠い(500mほど)。 ▶ 乗合タクシーや小型モビリティなど新たな公共交通機関で狭い道まで入り、コミュニティセンターで乗り換えるのも、1日数本であれば使いにくいので使わないと思う。</p> <p>② バス停に屋根がない。 ▶ 道が狭く、歩道の要件等で作れない。</p> <p>■行きたい場所</p> <p>① 孫と「う・ら・ら」でげんきの郷に行っている。 ▶ 時間さえ調べて知っておけばすごく便利である。 ▶ 駐車場探しに苦労しなくていい。</p> <p>② 病院は長寿医療研究センターに行く人が多い。</p> <p>③ 尾張森岡駅から電車に乗って名古屋に行っている。 ▶ 尾張森岡駅には駐輪場がある。 ▶ 尾張森岡駅は階段を使わずに乗場に行けるのがよい。 ▶ 緒川駅にもエレベーターがついてよかった。</p> <p>④ 刈谷市によく行く。刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」を使うので時刻表を持っている。 ▶ 刈谷市の北側にも南側にも行っている。 ▶ 刈谷ハイウェイオアシスに行っている。すごく楽しい。</p> <p>⑤ 刈谷市と知立市に行きたい。 ▶ 知多バス「刈谷中部空港線」が刈谷市と知立市に行くことを知らなかった。 ▶ 刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」の時刻表を、各所で配架すると利用がより活発になると思う。</p> <p>⑦ 「ふれあいバス(大府市循環バス)」を利用して、おおぶ文化交流の杜</p>

	<p>「allobu」に行ってみよう。</p> <p>■その他</p> <p>① 「う・ら・ら」がノンステップバスになって利用しやすくなった。</p> <p>② 普段はバスに乗らないが、空港に行く時は知多バス「刈谷中部空港線」を利用した。</p> <p>③ 老人会の飲み会するとき、緒川駅から刈谷線に乗って開催場所（公共施設）まで行った。運賃も安く行けたのが良かった。</p> <p>④ 「う・ら・ら」と刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」との接続をよくしていただきたい。</p> <p>⑤ 老人会するとき自家用車で相乗りすると、事故の危険性等から家族に叱られる。危ないと分かっているが、それに代わる移動手段がないと思っていた。これからは公共交通を上手に使って行きたい。</p> <p>⑥ バスの中で立って乗車していいのか、どうかが分からない。</p> <p>➤ 小型11号車以外は立って乗っていただくことが可能。</p> <p>⑦ 刈谷市や大府市の施設等に行くおでかけプランを実施した際に、参加したいか。</p> <p>➤ 参加したい。自分の周りは時間に余裕がある人が多いため、一緒に参加できる人もいると思う。</p>
感想用紙	<p>① 「う・ら・ら」と公共交通を乗り継いで、小旅行ができるコースを作って、利用したい（行先の例：尾張横須賀まつり（東海市）、佐布里池梅まつり（知多市）等）。</p> <p>② 友人と出掛ける時は、公共交通を利用して出かけるように心がけたい。</p> <p>③ 「う・ら・ら」もうまく使えば便利だということが分かった。おでかけプランで「う・ら・ら」を利用する自信が付けば、利用する方も増えるのではないかな。</p> <p>④ 天白ふれあい広場や実盛山ふれあい広場まで行けるバス停があると良い。</p>

(4) 生路小学校区

開催日時	令和3年11月3日(水・祝) 午前10時～
開催場所	生路コミュニティセンター
対象	生路小学校区の老若男女
参加者数	7名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：2名、60代前半：0名、60代後半：3名、70代前半：2名、70代後半：0名、80歳以上：0名
個別テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ① 「う・ら・ら」について(東浦高校線の利用等) ② 巽ヶ丘駅の乗継利用のニーズ ③ タクシー利用について(電話による依頼等) ④ 新たな交通機関の試行運用について(旧道に面した住宅地⇄アイプラザ)
主な意見	<p>■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① わからないことを運転士に尋ねた際に、不愛想な対応をされ、不快に感じたことがある。 ② 刈谷への移動について、行きはいいが、帰りの時間が自身の都合に合うバスがないことがある。 ③ 時刻表・路線図について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高齢者には、時刻表や路線図を見て目的地に移動するルートを考えるのが困難。 ➢ 時刻表の字が細かく見にくいことが高齢者にとってバス利用を難しく感じさせる要素となっている。 ④ イオンモール東浦から「う・ら・ら」の東浦高校線(文化センター経由)に乗ろうとしたとき、満員で乗れなくなった経験がある。一回の印象で良し悪しを判断し、「う・ら・ら」=混んでいて乗れないものという印象を抱いている人もいる。 <p>■行きたい場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 体育館東からアイプラザ、東浦町役場への移動に「う・ら・ら」を使うことがある。 ② 買い物でにぎわい市場マルス本店に行きたいので、目の前にバス停が欲しい。 ③ 東浦町から東海市や知多市の高校に通う高校生がいる。「う・ら・ら」で巽ヶ丘駅へ行くルートがあればより便利になると思う。 ④ 石浜駅前の耳鼻咽喉科みやこクリニックがあるが、「う・ら・ら」が石浜駅には乗り入れていない。患者さんがもし「う・ら・ら」で通院することができれば便利に感じるのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 石浜駅での「う・ら・ら」の利用が非常に少なかったため、石浜駅経由のルートを廃止した。病院が点在しているのが「う・ら・ら」

	<p>の運行ルートを考えるうえで難点となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 通院等の地域内での移動について、住民主体で対応策（新たな交通機関の導入等）を検討する議題を上げるも、利用に関するイメージやニーズは出てこなかった。 <p>■その他</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子どもが免許を取ってから自由に使える車がなくなり、「う・ら・ら」を利用するようになった。 ② 子どもの自由研究で地域を回る際に、「う・ら・ら」を利用したことがある。 ③ スーパーでの買い物帰りに「う・ら・ら」に乗る利用者を見ていて、両手に買い物袋持って大変そうだった。バス停ではなく家の最寄りにバスが止まってくれたらより便利では。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ バス停外での乗降を可能とする「フリー乗降区間」の導入は、安全の担保が確認できてはじめて可能となるため、現在の道路状況では困難。バス停は利用者の乗降、周辺環境などにおける安全性を考慮して設置している。また、「う・ら・ら」沿線でバス停を設置できる場所が非常に限られるというのが実情。 ④ 令和3年2月のダイヤ改正以降、乗り換えの時間が短くなった印象がある。 ⑤ 「う・ら・ら」の「乗り継ぎ券」のことを知らずに、乗り換えした際に、もう一度100円を支払う方がいた。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 乗り継ぎに関する案内がない。 ➤ 武豊町のバスは車内モニターで乗り継ぎ案内を実施している。さらに観光案内も行っている。 ⑥ 免許返納された方でバス停に行くことが困難な方がいる。例えば、長寿医療センターに行く人同士で相乗りして移動できる仕組みがあれば便利になる。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 既存タクシー会社の利用者を取らないことを条件に、福祉有償運送や空白地有用運送等の仕組みを活用して実施することは可能。 ⑦ グリーンスローモビリティの様な新たな公共交通機関を生路で運行するのがどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 生路内のみでの移動はあまりないのではないか。 ➤ 地域内移動の選択肢の一つとして留意。 ⑧ 地域住民組織を立ち上げ、地域のお出かけをサポートする体制づくりも住民の意思があれば可能。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 住民自身が主役となり地域の公共交通の在り方を考えていく基盤が大事。
感想用紙	① 「う・ら・ら」のことを保険と同じように考えるべきという加藤先生の

	<p>お話し、とても良く理解できた。今日を機に月に1回は「う・ら・ら」を利用しようと思う。なくなったら大変なので。</p> <p>② 名鉄線に乗れるルートがあれば便利になる。</p> <p>③ 高齢者がバスを待っている間に立っているのが大変そうなので、バス停にベンチを置けると良い。</p> <p>④ 「車に乗れるうちに、公共交通機関に乗る練習をする必要がある」という言葉が印象に残った。町民の方々に「う・ら・ら」を体験してもらう試みが必要だと思う。</p> <p>⑤ 巽ヶ丘駅方面へは用事がないので行かない。</p> <p>⑥ 老人会等で公共交通に関する働きかけをしてほしい。</p> <p>⑦ よく利用される病院やショッピングセンター等については、目的地別の時刻表を提示してほしい。</p>
--	---

(5) 藤江小学校区

開催日時	令和3年11月3日(水・祝)午後1時30分～
開催場所	藤江コミュニティセンター
対象	藤江小学校区の老若男女
参加者数	9名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：3名、60代前半：0名、60代後半：2名、70代前半：1名、70代後半：0名、80歳以上：3名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について(東浦高校線の利用等) ② 巽ヶ丘駅への乗継利用のニーズ ③ タクシー利用について(電話による依頼等) ④ 新たな公共交通機関の試行運用について(東浦高校線の通っていない須賀川以南の住宅地⇄東浦駅)
主な意見	<p>■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか</p> <p>① 雨、寒さなどのため屋根があるバス停が望ましい。</p> <p>② 「う・ら・ら」ができた時は子どもが小さかったので利用したが、今は利用していない。バスでいろんなところに行けて楽しかったが、生活にゆとりがなくなり、すぐ行きたい場合には車を利用するようになった。</p> <p>③ 「う・ら・ら」を使っている高齢者数名からは、バス停まで歩くのが辛いといった意見を頂いた。</p> <p>④ 昔は長寿医療研究センターまで一本で行っていたが、今は複雑なので使いづらい。</p> <p>■行きたい場所</p> <p>① 巽ヶ丘駅に行くようになったらいいと思う。</p> <p>■その他</p> <p>① 外出が健康につながるので、「う・ら・ら」でできないものは地域資源で補完したい。</p> <p>② 刈谷市に行く知多バス「刈谷中部空港線」があることを知らなかった。</p> <p>③ 19時台のJRと「う・ら・ら」の接続ができるとありがたい。 ▶ 最終便を遅らせるのは簡単だが、労働時間が13時間になる。人件費は全経費の約7割なので二人にすると運行委託費は1.7倍になる。それに対して、夜は利用が多くないので「う・ら・ら」を走らせていない。</p>
感想用紙	<p>① 平池台に住んでいるが、床屋さんや病院(浅井外科)も阿久比町に行っている。マルス東ヶ丘店や巽ヶ丘駅へのアクセスも考えていただきたい。</p> <p>② 「う・ら・ら」で巽ヶ丘駅に行きたい。</p> <p>③ それぞれ駅でのすてきな所の紹介をしてほしい。</p> <p>④ スーパー・銀行・郵便局等があるため東浦駅周辺にも、役場・保健セン</p>

ター・中央図書館にもアクセスしやすい環状線(左回り)を増やしてほしい。

- ⑤ 現に困っている人、これから困るかもしれない人、まだ困っていない人で要望が大きく異なるので、世代(ライフスタイル)別にして公共交通を考え合う場を作るのが良いのでは。

(6) 石浜西小学校区

開催日時	令和3年11月23日(火・祝) 午前10時～
開催場所	県営東浦住宅集会所
対象	石浜西小学校区の老若男女
参加者数	9名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：0名、60代前半：1名、60代後半：1名、70代前半：3名、70代後半：4名、80歳以上：0名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について(東浦高校線の利用等) ② タクシー利用について(電話による依頼等) ③ 新たな公共交通機関の試行運用について(旧道に面した住宅地⇄アイプラザ⇄石浜駅)
主な意見	<p>■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか</p> <p>① 足が悪いので緒川駅での乗り換えが非常に大変(特にノンステップバス以外)。バスを選んで乗っている。</p> <p>② 運転手の威圧感がすごかったことがある、気楽に便利に使いたい。</p> <p>③ 高齢者はイオンモール東浦から帰ってくる際に、環状線(左回り)と環状線(右回り)のどちらに乗ったら良いかわからない。</p> <p>④ 早い時間のバス、遅い時間のバスがないので自転車で緒川駅まで行っている。</p> <p>⑤ 13時台に長寿医療センター発のバスがないため不便(2時間待たないといけない)。</p> <p>⑥ アイプラザのバス停まで歩くのが大変な人はタクシーを使う。</p> <p>⑦ タクシーを呼んでもなかなか来ないことがある。どのタクシー会社を呼ぶと早いかな等の情報も持っていないのでわからない。</p> <p>■行きたい場所</p> <p>① 飲みに行くときは「う・ら・ら」で緒川駅に行きJRを使う。</p> <p>■その他</p> <p>① イオン発着のバスは時間がちょうどよく便利である。</p> <p>② 運転手が乗継券に日付を書いているが、人数が多いと大変そう。</p> <p>③ 新たな公共交通機関の試行運用の目的地について、石浜駅は緒川駅からも電車で行けるので、あえて作る必要性は薄いかな。</p> <p>④ 石浜コミュニティセンターから片葩小学校までの狭い道をなぜ走るのか。令和元年10月以前に走っていた広い通りを運行した方が良くはないか。</p> <p>➢ 令和元年10月のダイヤ改正の際に行ったグループで強い要望があった。</p> <p>➢ 岡田接骨院への通院が便利になった。</p>
感想用紙	① バスを走らせることは大変だということが分かった。この説明会があ

れば、また参加したい。

- ② 皆さんの意見を聞いて、バスに乗ることが必要だと感じた。バスの乗る体験をしていきたい。
- ③ バス停の時刻表が低い位置にある。また、時刻表を照らす照明があると良いのではないか。
- ④ まだバスの時間をみて理解できるが、この先は心配。
- ⑤ バスの乗務員に思いやりを持っていただくのと同時に、乗客もマナーを守ることが大切。
- ⑥ 気になっていたことを聞くことができよかった。参加して、話を聞くことで納得がいくこともあった。

(7) 片葩小学校区

開催日時	令和3年11月23日(火・祝)午後1時30分～
開催場所	石浜コミュニティセンター
対象	片葩小学校区の老若男女
参加者数	15名(うち1名がオンライン参加)
年代別	学生:0名、18～39歳:0名、40～59歳:3名、60代前半:2名、60代後半:3名、70代前半:3名、70代後半:3名、80歳以上:1名
個別テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ① 「う・ら・ら」について(東浦高校線の利用等) ② 県営東浦住宅の改築等によるニーズの変化 ③ タクシー利用について(電話による依頼等) ④ 新たな公共交通機関の試行運用について(南ヶ丘の住宅地⇄アイプラザ⇄石浜駅)
主な意見	<p>■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 石浜地区から刈谷豊田総合病院に行く際に、緒川駅での待機時間がある。緒川駅に30分ほど休める待合室があればありがたい。 ② 石浜地区から緒川駅へは約10分で行くことができ便利。しかし、使いたい時間帯にバスが走っていないことがある。 ③ 停留所が欲しいが、歩道が狭く、坂が多いため設置できる場所がない。 ④ 環状線(左回り)と環状線(右回り)の違いに気づかずにバスに乗りして、目的地と反対方向に行ってしまったことがある。分かりやすくしてほしい。 ⑤ 「う・ら・ら」は高齢者が乗るものといったイメージがある。 <p>■行きたい場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 石浜駅前のみやこクリニック(耳鼻咽喉科)に行きたい。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 東浦高校線について <ul style="list-style-type: none"> ➢ ダイヤ改正後から、バスに乗りやすくなったという声が増えた。 ➢ 366号線沿いと片葩小学校の南側にもバス停があると良い。 ➢ 便数が少ないのがネック。 ② 病院から帰るために、長寿医療研究センター13時台発の便が欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 診察時間が12時を過ぎることが多々あるため。 ➢ 運転手の休憩時間を確保するため、13時台の運行は難しい。 ③ タクシーの利用について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 19時台、20時台のバスがカバーできていない時間帯であれば、300円～500円払ってでも乗りたい方はいる。 ➢ 366号線沿いに飲食店からの帰りなどにも使えるのではないか。 ④ 新たな公共交通機関の試行運用については、道が狭く、坂が多い石浜地区においては有効的であると考えられるが、運行する区間についての

	意見は出なかった。
感想用紙	<p>① 日頃、「う・ら・ら」を利用していないため、いざ利用するときになって利用できるか不安。</p> <p>② 「う・ら・ら」を利用しないのは、便が少ないので無駄な時間ができてしまうからではないか。</p> <p>③ 今は自家用車での移動がほとんど。これからバスを利用する機会を設けていきたい。</p> <p>④ 公共交通のことを知らない人が多いと思うので、地区ごとで利用促進キャンペーンをやるの良いのでは。</p> <p>⑤ 利用する方を増やすことはなかなか難しいと思うが、イベントや散歩などの行事を自治会、公民館などで考えていただけると一度、二度と利用する方がいるのではないか。</p> <p>⑥ 「う・ら・ら」に合わせて自分の行動を考えるのは、いまの頭の中にはない。免許を持っている方が「う・ら・ら」に乗ることは便利だと感じない。</p>